

文化財調査・普及員通信



第 2 号

発行
平成 16 年 11 月 15 日
相模原市文化財調査・
普及員広報グループ

田名向原遺跡見学会に参加して 東部班 市橋 弘昭

8月21日土曜日午前9時20分、田名向原遺跡に文化財調査・普及員の5名が集めた。日差しは強かったが風が通り気持ちのいい日であった。

この日、我々に割り当てられた仕事は、見学者へのパンフレットの配布、見学者の誘導、見学会の様子の撮影、アンケートの記述の依頼と回収であった。また一般の見学者の方よりも先に遺跡等の説明を受けたが、これは少々優越感を感じ嬉しいものがある。

そうするうちに見学会が始まり、お年寄りから幼児まで110名の方が来場され、誰もが足早に見学場所の方へと向かわれた。中でも人気があったのが石器作りで、黒曜石の破片で肉や魚を切り刻み、その切れ味に思わず拍手が湧いていた。また出土品の展示や発掘状況の説明においても質問が多く関心の高さを実感することができた。

その後、講演等が行われたが、本遺跡の重要性を再認識させられるとともに、遺跡公園化における地元の方々の熱い要望を聞くことができた。またこの付近は、古代人はもとより近代においても綺麗な洋館が建てられ、それぞれの時代において相模川の景色を楽しんできたようである。

最終的にアンケートの回収は6割であったが、もう少し積極的にお願いすればよかったかな?と反省した一日であった。



石器作りに夢中の参加者たち

文化財調査・普及員研修 文化財めぐりに参加して 東南班 渡辺刀美乃

7月27日の文化財めぐりに参加し、特に深く感銘を覚えた場所について、記します。

1. 当麻山無量光寺・・・堂々たる高麗門をくぐり、一遍上人像や境内の無数の地蔵様に接して、こころ洗われるおもいがしました。
2. 田名向原遺跡
夏に研修した発掘現場を懐かしく思い浮かべました。かまどの跡や土器に先人の生活の一旦に触れることができました。今後考古学や分析技術の進歩により、新しい知見が次々に加えられることが楽しみです、私も学んでいきたいです。
3. 県水産総合研究所内水面試験場

ホトケドジョウ、メダカなどが水系別に飼育されていました。種の多様性や遺伝子レベルの保存には生態系の理解と、自然環境下での私たちの行動をいかに制御すべきかの宿題を貰った気持ちでした。

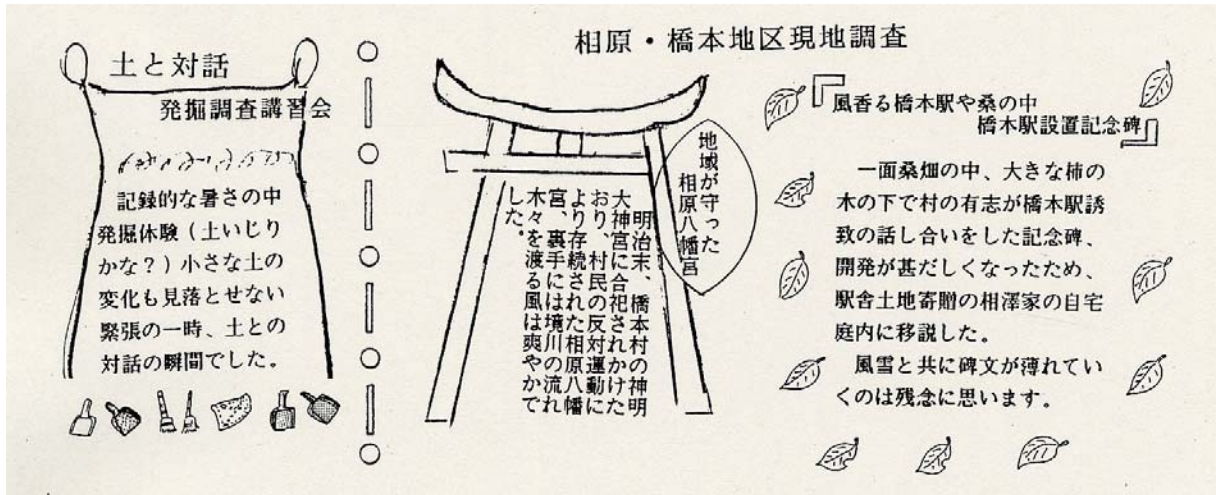
文化財保存には、文系、理系、工学系などを越えた学際的な理解が必要と感じました。当分は多くの講座や催しなどに参加し基礎を固め、私にできることは何かを見出したいと思った有意義な文化財めぐりでした。



旧陸軍通信学校将校集会所庭園にて

* 北部班の活動

- 6月～9月 定例会・・・各小班の活動報告、文化財リストのまとめ方について
公民館まつりに参加決定
- 6月3日 牛久保家、馬頭観音見学、屋内に安置してあるため、
管理者の協力により5名参加
- 7月20日～23日 発掘調査講習会参加（田名向原遺跡）
- 7月24日 相原地区現地調査
- 7月27・30日 市内文化財めぐり参加



* 東部班の活動

今年度は、担当区域の文化財に関して調査研修及び現状把握を行ない、文化財に対して理解を深めることを目的として活動しています。また今後の様々な活動の参考にと資料作りもしています。内容は、配布済の資料をご参照ください

・ 活動状況

- ① 淵野辺地区（一部矢部含む）・・・5月より7月に合計3回にて調査研修終了
- ② 大沼地区・・・9月11日（土）終了
- ③ 鵜野森地区・・・10月2日（土）予定
- ④ 大野台地区・・・11月 予定　ここで地区全体終了

* 暑さに耐え、雨にもめげず元気に活動を続けています

・ 今後の予定

- ① 12月～1月 活動の評価、反省及び来年度の課題検討
- ② 2月～3月 まとめ 新年度の活動計画作成など

☆ 区域を巡って

- ・ 区域の文化財を訪ねて見ると、その地域の歴史の深さや特徴が出ていて大変興味深いものです。淵野辺の畑には縄文土器片の散布が見られました。
- ・ 石仏は、風化が進んで3年前には見えた文字や像が消えているものがあったり、草むらに埋もれた石仏は、人間（我々）と久しぶりのご対面にビックリしてました？
- ・ 道や沼が宅地になって、それにまつわる伝承も民話も語り継がれなくなっている大沼。立派な文化遺産なのに。

（記太田）



大沼地区現地調査研修の一コマ

* 西部班の活動

養蚕をテーマに調査中。(それと平行し担当地域の文化財についても調査を実施中。)

各自が養蚕の中で興味のある分野を担当し、月一回の会合で情報を交換。

かつてわが国の輸出の花形であった生糸。その生産を支えた養蚕は、日本農業のうちでも大きな比重を占めていた。相模原も例外ではなく、中でも田名は当時の 90%が養蚕にたずさわるほどの盛業ぶりでした。

養蚕の調査は蚕の種類から始まり、道具、民家、物流のための道、良好な繭の育成を願う信仰(神社、寺院、行事、伝説、歌)、当時の暮らしぶり、現在の養蚕農家の暮らし、今後の展望など調べていくと範囲が広すぎ、どのようなやり方でどこまで調べたらいいか試行錯誤を続けています。

秋野さんが活動休止に、また豊田さんが体調の影響で活動を退くことになりました。

* 南部班の活動

南部班のテーマである「相模の古道」。このフィールドワークも第4回を迎えた。

相模の国府から武蔵の国府間、新戸の一里塚～麻溝～木曾の一里塚(町田)を重点的に調査しているが、この相模の原を通り抜けた幻の官道も時代とともに東山道・道者道・木曾街道・磯部街道・大山街道・御尊櫃街道と呼び名も変わり、今では古道の痕跡らしきものも少なくなってきている。

せめて、南部班の調査の中で、麻溝(明治22年に当麻と下溝が合併し、麻溝となった)にあった二ツ塚という名の一里塚を探し求め、「下溝の一里塚」として、榎でも植え、南部班の調査の成果としたいものである。これまでの活動状況は次のとおり。

第1回: 4月26日(月) 木曾一里塚(町田)～新戸一里塚間15kmのフィールドワーク

第2回: 8月21日(土) 木曾一里塚～相模野基線北端点間のフィールドワーク

第3回: 9月18日(土) 相模野基線北端点～新戸一里塚間のフィールドワーク

第4回: 11月14日(日) 麻溝地区及び下溝地区の再調査

* 東南班の活動

7人のサムライ

合言葉は **休まず 全員参加**

この夏は暑かったですね～ 東南班の活動もちよっぴり夏休み気味

活動状況

東南地区の石造物 47箇所
のデータ確認

東南班オリジナル版
調査カードの作成

この調査カードに調査
内容の一部を全員で
手分けして作成

涼しさの到来に合わせてこれからもフィールドに出て、現地の確認と併せ、調査カードの更なる肉付けを全員参加で行って行く予定です。

文化財保護室からのお知らせ

発掘調査講習会が多数の参加にて終了！

平成16年6月～10月までの4遺跡にて、発掘調査講習会が行われました。

今回は発掘調査の基礎的な講習を4単元に分けて行い、32名の方が全課程を修了しました。修了者には後日修了証を送付し、今後市民調査員として発掘調査の案内をする予定です。各講習会の結果は次のとおりです。



勝坂遺跡での講習会 土層の分層中！

6月29日～30日	都市計画道路相模大野線第3次調査	東南班	修了者6名
7月13日～16日	新磯分署建設予定地	西部班	修了者8名
7月20日～22日	田名向原遺跡第4次調査	北部班	修了者8名
10月12日～15日	勝坂遺跡第65時調査	東部班修了者5名、南部班修了者4名	

次年度以降も発掘調査に関する研修希望がありましたので、実施を検討いたします。

第30回相模原市文化財展開催中！

文化財研究団体の案内により文化財を探訪する相模原市文化財展が開催中ですので、ぜひご参加ください。

今後の開催コースは次のとおりです。

- 11月21日(日)上矢部～古淵間 集合 午前8時55分矢部駅北口 終了 午後4時半頃
 - 11月23日(祝)畑地かんがい用水の散策 集合 午前10時30分 虹吹分水池前 (村富相武台線バス停「相模原浄水場」から案内あり) 終了 午後2時半頃
- 詳しくは文化財保護室までお問合せください。当日、探訪マップを配布します。

第25回相模原市民俗芸能大会開催！

市制50周年記念フェスティバルの中で、第25回相模原市民俗芸能大会を開催します。出演は田名・大島・下九沢の獅子舞、番田神代神楽、大沼土窯つき唄の5団体です。詳細は送付済みの別途チラシをご覧ください。

日時 11月20日(土) 午後2時50～4時30分まで※雨天決行
場所 リバティ大通り路上 郷のステージ(「市役所前」交差点付近)

当日スタッフとしてご協力いただける方は、文化財保護室までご連絡ください。

江東区の文化財ボランティアと語ろう！

文化財ボランティアの活動が盛んな東京江東区より、ボランティアの方を直接招き、現状の活動と課題についてお話いただきますので、ぜひご参加ください。

- ・日時 平成16年12月11日(土)午後2時～4時
- ・場所 総合学習センター 2階 セミナールーム
- ・講師 江東区文化財保護推進協力員 小澤健一氏

発行連絡先 相模原市教育委員会 文化財保護室 電話 042-769-8371